

平成25年度  
石狩浜海浜植物保護センター活動報告

石狩市環境市民部  
石狩浜海浜植物保護センター

## 目次

事業概要	・・・・・・・・・・	1
1. 普及啓発活動	・・・・・・・・・・	1
2. 調査・研究	・・・・・・・・・・	10
3. 自然観察園の整備	・・・・・・・・・・	11
4. 環境整備事業	・・・・・・・・・・	12
5. 来館者数	・・・・・・・・・・	13
6. 保護・回復対策	・・・・・・・・・・	14
沿革	・・・・・・・・・・	16

## 事業概要

石狩浜海浜植物保護センターは、将来にわたって自然豊かな海辺環境をのこしていくため、石狩浜の植生及び海浜生態系の保全を目指し、海岸利用者や市民への普及啓発、海浜生態系や海岸利用に関する調査研究、植生の保護・回復対策などに、市民、研究機関と協働で取り組んでいます。

### 1. 普及啓発活動

#### 1. はまなす再生プロジェクト

近年石狩浜は、後を絶たないバギー車等の植生域への侵入や、砂丘の安定化による内陸性の植物の侵入など、様々な要因により失われつつあります。そこで、石狩浜海浜植物保護センターでは、石狩浜の原風景の再生を目指し、平成 25 年度に「ハマナス再生プロジェクト」を立ち上げました。本プロジェクトでは、当センターの隣接地 7 千㎡を「ハマナス再生園」とし、ハマナスの苗移植や、散策路づくりを、「はまなすサポーター（研究機関、企業、市民等）」の方々と協働で取り組みました。また、市民有志が集まり（はまなすフェスティバル実行委員会）、各種イベント等を開催しました。

#### ■はまなすフェスティバル

開催目的：

石狩市の市花であり、石狩浜の自然環境保全のシンボルでもある「ハマナス」をキーワードに、食、遊、学、自然をテーマとして、幅広い層へ、石狩浜の自然の魅力を伝えました。

開催日：平成 25 年 6 月 29 日（土）

来場者数：350 名



#### ■はまなす広場

ハマナスを用いたごはん、ケーキ、クッキーやお茶などを囲んで、ハマナスの効用や活用の可能性について語りました。

開催日：平成 25 年 9 月 21 日（土）

参加者：33 名



## ■石狩海辺の風景写真コンテスト

募集期間：4月30日～6月10日

応募数：58点

はまなすフェスティバル実行委員会では、全国的にも希少になりつつある自然海岸を色濃く残した石狩浜の魅力を広く発信するため、「海辺の風景写真コンテスト」を開催しました。



<グランプリ>

タイトル：石狩川暮色



<石狩市賞>

タイトル：また来ようね！

### ・再生園の様子

平成25年度は、保護センター隣接地7千㎡のススキなど内陸性植物などを取り除くとともに約300株のハマナスの苗を市民、幼稚園や小中学生と移植しました。



・再生園のデザインについて

日本造園学会北海道支部による学生ワークショップとして、当センターハマナス再生地のデザイン考案に取り組んでいただき、これを原案に、ハマナス再生園デザイン会議を開催し、市民とともに図1-1に示すランドデザインを作成しました。

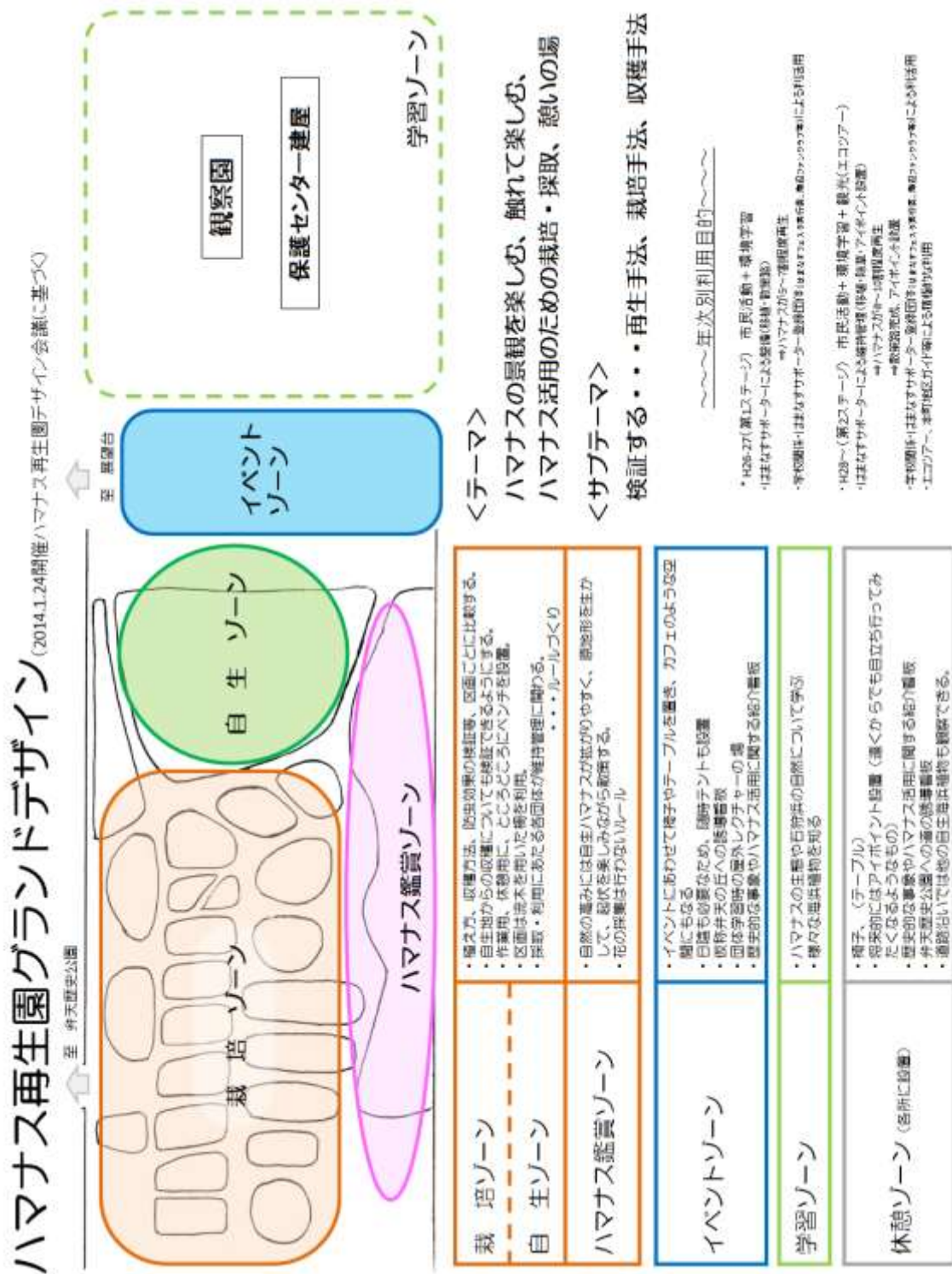


図1-1 ハマナス再生園ランドデザイン

## 2. いしかり海辺ファンクラブ協働事業

平成 23 年度、石狩市協働事業提案制度に基づき採択された、市民団体いしかり海辺ファンクラブとの協働による「石狩海岸の保全と啓発に関する事業」に表 1-1 のとおり取り組みました。

表 1-1 石狩海岸の保全と啓発に関する事業実施状況

### ■パンフレット「未来に残そう石狩海岸の自然」作成・配布

石狩海岸利用者マナー（カントリーコード）をまとめたパンフレットを作成するとともに、7月27日（土）、8月10日（土）の2日間、いしかり海辺ファンクラブメンバーが、レジャー利用者等に配布しました。



パンフレット



パンフレット配布

## 3. 自然教室等

平成 25 年度は、表 1-2 のとおり実施しました。実施にあたっては、社会教育施設や市民団体との共催により、普及啓発事業の効率化を図りました。

表 1-2 平成 25 年度自然観察会等の開催状況

### ■自然観察会「石狩川河口右岸からシップ原生花園を巡る」（いしかり海辺ファンクラブ主催）

6月16日（日） 参加者29名

シップ原生花園など初夏の海浜地域を巡り、海浜植物や野鳥を観察しました。

### ■石狩川下流をさかのぼるツアー（石狩湾自然史ネットワーク主催）

7月6日（土） 参加者34名

石狩川の河口から豊平川合流地点までを、河に沿って移動しながら地形や植生を学習しました。

### ■親子体験講座「テンキづくり～ハマニンニクで小カゴを編む」（いしかり砂丘の風資料館主催）

7月20,27日（土） 参加者22名

ハマニンニクの採集を通じてその生態を学んだあと、採集した材料を用いて、コースターを編みました。

---

■夏休みミニ自然教室

---

7月27,28日(土,日)、8月3,4日(土,日) 参加者142名

海浜植物保護センターでクラフト遊び、自然観察園での自然観察。

指導：石狩浜自然案内人

---

■自然教室「海辺の草木で染めてみよう」

---

8月8日(木) 参加者10名

ハマナスやハマニンニクでの草木染めと、海辺の植物について学習しました。

指導：石狩浜自然案内人

---

■フットパスツアー「秋の聚富海岸を歩く」(いしかり海辺ファンクラブ主催)

---

9月14日(土) 参加者44名

八幡町からスタートし、聚富原生花園を通り望来坂下まで秋の聚富海岸を約10km歩きました。

---

■自然教室「～はまなすジャムづくり&ハマナスを植えよう～/はまなす広場」

---

9月21日(土) 参加者14名

ハマナスの実を使用したジャム作りを行うとともに、現在様々な要因で減少しつつあるハマナスの苗の移植会を行いました。

指導：石狩浜自然案内人

---



9/14.フットパスツアー「秋の聚富海岸を歩く」



9/21.自然教室「はまなす広場」

#### 4. 幼稚園、小中学校への学習指導

センターでは、小中学校等教育機関が石狩浜で取り組める自然や環境保全に関する環境プログラムを提供しています。平成25年度にセンターを利用した学校等は表1-3のとおりでした。

なお、小中学校が石狩浜で取り組める自然や環境保全に関する学習プログラムを示した「石狩浜自然ふれあい学習のすすめ」をHP上で配信しています。

表 1-3 平成 25 年度学校等利用状況

日にち	学校・学年	人数
5月10日(金)	白石幼稚園	8
5月14日(火)	石狩翔陽高校・2年	40
5月22日(水)	石狩小学校・5年	9
5月29日(水)	石狩小学校・5年	10
6月14日(金)	発寒幼稚園	85
7月11日(木)	北陽幼稚園	52
7月17日(水)	石狩中学校1年	40
7月17日(水)	大麻幼稚園	56
7月19日(金)	生振小学校	14
7月27日(土)	翔陽高校	2
8月8日(木)	双葉小学校・5年	5
8月29日(木)	石狩小学校・4年	13
9月12日(木)	北陽幼稚園	51
9月25日(水)	石狩中学校・1年	43
10月7日(月)	花川小学校・3年	51
10月8日(火)	藤女子大学・4年	16
10月17日(木)	栄北小学校・3年	101
11月7日(木)	双葉小学校・3年	65

#### 5. 出張講座・講師派遣事業

出張・出前講座及び講師派遣事業は表1-4のとおりです。

表 1-4 平成 25 年度出張講座・講師派遣事業実施状況

---

##### ■出前講座(主催:石狩翔陽高校)

---

4月23日(火)

会場:石狩市学びの交流センター

内容:講話「石狩浜の自然と保全」

人数:19名

---



<p>■出前講座（石狩中学校）</p> <p>5月21日（火）</p> <p>会場：石狩中学</p> <p>内容：講和「石狩浜の環境学習」</p>
<p>■出前講座（藤女子大学）</p> <p>6月12日（水）</p> <p>会場：藤女子大学</p> <p>内容：講和「石狩浜の自然と保全」</p>
<p>■科学の祭典 in 石狩 2013（主催：科学の祭典 in 石狩実行委員会）</p> <p>11月17日（日）10:00～15:00</p> <p>会場：石狩市こども未来館</p> <p>内容：出典「砂の世界へようこそ」</p> <p>全体来場者数：1400人</p>

## 6. 施設利用

センター団体利用状況を表 1-5 に示しました。

表 1-5 平成 25 年度石狩浜海浜植物保護センター団体利用状況

利用日	利用団体	人数
5月 9日（木）	当別デイサービスセンター	9
5月31日（金）	登別市役所	4
6月 6日（木）	北海道森林管理局	25
6月24日（月）	デイサービス森のふくろう	10
6月27日（木）	デイサービス森のふくろう	8
6月28日（金）	デイサービス森のふくろう	8
6月30日（日）	NPO法人冒険クラブ	40
7月 5日（金）	自然旅クラブ	16
7月 8日（月）	自然旅クラブ	25
7月10日（水）	藤女子大学4年	2
8月 2日（金）	日本造園学会北海道支部 学生デザインワークショップ	7
8月 3日（土）	日本造園学会北海道支部 学生デザインワークショップ	16
8月 9日（金）	花川児童館	21
8月11日（日）	北広島生涯学習振興会	30
8月19日（月）	フルールハピネスしのろ	13
8月22日（木）	フルールハピネスしのろ	11
8月23日（金）	フルールハピネスしのろ	11

8月29日(木)	全国市長会視察	4
8月29日(木)	フルールハピネスしのろ	8
9月13日(金)	フルールハピネスしのろ	6

## 7. ふるさと海辺フォーラム

海浜植物保全活動を全国に広げていくことを目指し、海辺の自然保護活動に取り組む団体と交流を図っています。平成25年度は、表1-6のとおり、8月に静岡県浜松市で、サンクチュアリエヌピーオーの主催により開催されました。

表1-6 平成25年度ふるさと海辺フォーラム開催状況

<p>■開催日</p> <p>8月17日(土)、18日(日)</p>
<p>■会場</p> <p>浜松市「サンクチュアリネイチャーセンター」</p>
<p>■基調講演(1日目)</p> <p>タイトル:「これからの環境保護活動について」</p> <p>講師: 廣野 良吉 氏</p>
<p>■参加団体(9団体、約30名)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 北海道中標津町「きたねむろ山菜エコランド」</li> <li>2. 北海道石狩市「石狩浜海浜植物保護センター」</li> <li>3. 北海道石狩市「いしかり海辺ファンクラブ」</li> <li>4. 青森県横浜町「よこはまホテル村」</li> <li>5. 秋田県秋田市「新屋ハマボウフウの会」</li> <li>6. 東京農業大学農学部農学科</li> <li>7. 神奈川県茅ヶ崎市「NPO 法人ゆい」</li> <li>8. 静岡県浜松市「サンクチュアリエヌピーオー」</li> <li>9. 愛媛県伊予市「県立伊予農業高校」</li> </ol>

## 8. 執筆・寄稿

出版物への投稿は表1-7のとおりです。

表1-7 平成25年度出版物への寄稿・執筆状況

<p>■雑誌「モーリー第32号」誌面『ネイチャーセンター日記』</p> <p>発行: 財団法人北海道新聞野生生物基金</p> <p>テーマ: 石狩浜・海辺の自然教室</p>
--

## 9. 刊行物・HP

平成25年度に配布した刊行物等の発行状況は表1-8のとおりでした。センターのホームページで配信し、行事情報、開花情報を中心に更新しました。なお、ホームページアクセス数は表1-8のとおりです。

表 1-8 平成 25 年度刊行物発行状況

刊行物名	内 容
通信誌「はまぼうふう」vol.45、46	浜の自然情報やセンターの行事予定などを掲載
石狩浜自然観察ハンドブック	石狩浜の自然について、写真、イラストなどで紹介
パンフレット 「未来に残そう石狩海岸の自然」	石狩海岸利用者マナー（カントリーコード）を掲載
パンフレット 「石狩浜海浜植物保護センター」	石狩浜海浜植物保護センターの施設紹介

表 1-9 平成 25 年度石狩浜海浜植物保護センターホームページアクセス数（単位：件）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
件数	1,137	1,422	1,435	1,422	1,475	1,048
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	973	1,042	1,165	1,908	1,196	1,083
年間計	15,306		月平均		1,275	

## 10. 海浜植物種子の配布

来館者向けに配布した種子の種類と数は表 1-10 のとおりでした。

表 1-10 海浜植物種子配布状況（単位：袋）

種 類	配布袋数	種 類	配布袋数
ハマボウフウ	1,359	ハマヒルガオ	522
ハマエンドウ	589	エゾカワラナデシコ	1,400
ハマハタザオ	712	ハマナス	798
エゾスカシユリ	403		

## 2. 調査・研究

平成 25 年度取り組んだ主要な調査研究（共同・協力含む）は、表 2-1 のとおりでした。また、これまでに発行した調査研究報告は表 2-2 のとおりです。結果については、別途作成の報告書や、紀要等へ掲載していきます。

表 2-1 平成 25 年度調査研究実施状況

■石狩海岸における利用状況モニタリングと植生回復実験 (北海道大学大学院農学研究院園芸緑地学分野 花卉・緑地計画学研究室)
■聚富地区植生概況調査
■砂丘草原植生モニタリング調査
■はまなすの丘海岸線侵食状況の把握
■はまなすの丘植物開花状況調査（石狩浜定期観察の会）

表 2-2 石狩浜海浜植物保護センター調査研究報告

報 告 書 名	号
石狩浜における植生モニタリング区の設置と 14 年間の植生変化(2002 年度調査)	1 号
石狩川河口湿地部における植生モニタリング区設置と植生概況（2003 年度調査）	2 号
石狩海岸林の植生概要（2004 年度調査）	3 号
石狩浜定期観察による植物開花状況の記録（2004/2005）	4 号
石狩浜定期観察による植物開花状況および野鳥の記録（2006）	5 号
聚富海岸の植生概況（2007 年度調査）	6 号
石狩浜定期観察による植物開花状況および野鳥の記録（2007）	7 号
1989 年以降に記録された石狩浜の植物種リスト	8 号
2008 年から 2010 年の石狩浜定期観察による植物開花状況等の記録	9 号
石狩川河口砂嘴における植生分布の変化	10 号

### 3. 自然観察園の整備

#### 1. 自然観察園

センターの自然観察園は、展示施設に隣接した約 2,100m<sup>2</sup>の敷地です。石狩浜に自生する海浜植物を集めると共に、石狩砂丘の植生の帯状構造を再現するように、自然植生を生かしながら移植、播種、及び除草等を行っています。

また、来館者の学習をサポートするために、クイズラリーの看板等を設置し、環境学習の場として積極的な活用を図っています。



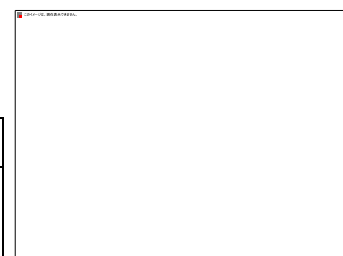
図 3-1 自然観察園概況

#### 2. 市内公園での海浜植物栽培

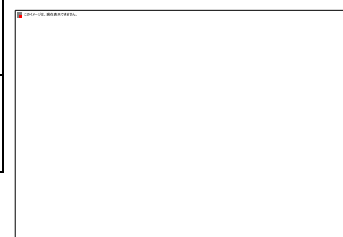
センターでは、市民が身近に石狩浜の海浜植物等に親しめるよう、表 3-1 のとおり、市内の公園で栽培しています。

表 3-1 平成 25 年度市街地公園花壇への海浜植物移植状況

公園名	海浜植物の種類
紅南公園 花川南公園	エゾカワラナデシコ、ノコギリソウ、エゾカワラマツバ、ウンラン、イソスミレ、ハマハタザオ、コガネギク、ハマボウフウ、ナミキソウ、エゾスカシユリ、カセンソウ
紅葉山公園 (イカダ)	ノハナショウブ、タチギボウシ、ナガボノシロワレモコウ、サワギキョウ、エゾミソハギ



紅南公園



紅葉山公園

## 4. 環境整備事業

石狩浜の自然に親しみやすい環境づくりのため、観察路の維持や外来植物の除去を行いました。

### 1. 親船名無沼観察路

通称親船名無沼は、平成 17 年度に行った動植物相調査により、多様な水生動植物が息生育することがわかりました。多くの方が沼の自然に親しめるよう、センターでは平成 18 年より、道路から沼岸まで近づける歩道、観察場を設置し、維持管理を行っています。平成 25 年度も引き続き維持管理を行いました。



図 4-1 通称親船名無沼の位置

### 2. 石狩浜海浜植物保護センター～弁天歴史公園散策路

石狩浜海浜植物保護センターから弁天歴史公園まで、海浜植物群落やニセアカシア林を通して散策できるよう、毎年散策路の草刈りを行っています。

当該エリアは、当初の海浜植物群落がアキグミやススキ等の増加により消失したため、ハマナス再生園として整備（1 ページ参照）を進める中で、新たな散策路の整備を進めていく予定です。



図 4-2 海浜植物保護センターから弁天歴史公園までの散策路のルート

### 3. 外来植物等の除去作業

はまなすの丘の木道周辺は、多くの観光客や散策者が訪れ、石狩川河口の海浜植物群落の景観を楽しむ場所ですが、ニセアカシア、カモガヤなどの外来植物及び内陸性植物のススキが増加し、景観が損なわれつつあります。景観保全のため、木道周辺の外来植物等の除去に取り組んでいます。

平成 25 年度は以下のとおり実施し、企業の社会貢献活動として多くの方の参加があったのが特徴でした。今後も継続していきます。

表 4-1 平成 25 年度外来植物等の除去作業実施状況

日にち	参加者数	参加団体等
4月27日(土)	約 150名	石狩市緑化推進協議会、石狩ライオンズクラブ、親船高齢者クラブハマナス会、石狩浜定期観察の会、ふるさと自然塾、石狩観光協会、センター運営委員会、石狩観光協会、石狩植物愛好会、NTT 東日本グループ北の自然守り隊、ほか
10月26日(土)	約 150名	

## 5. 来館者数

平成 25 年度の開館期間中（4 月 29 日～11 月 3 日）の来館者数は、10,520 人でした。月別来館者数は、図 5-1 に示しました。また、平成 12 年度からの来館者数の変化を図 5-2 に示しました。

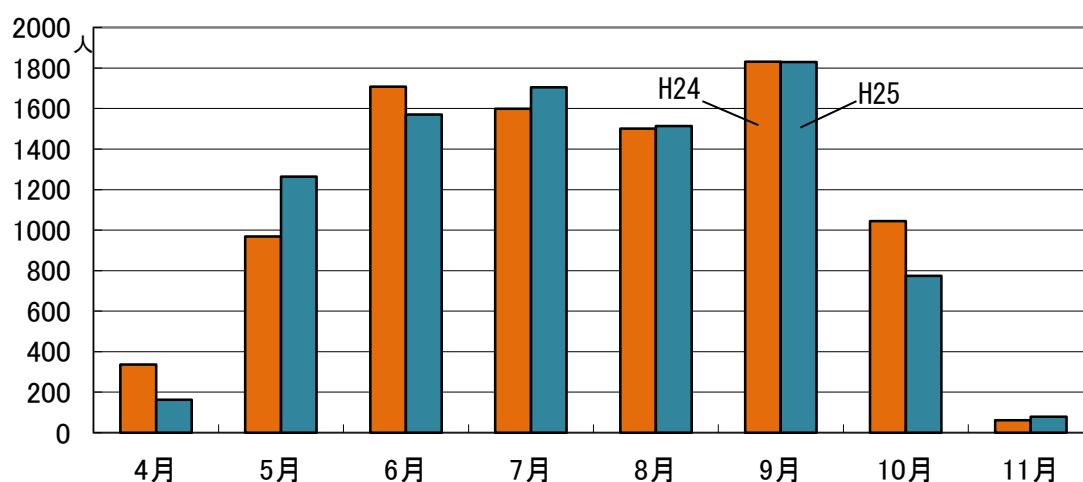


図 5-1 平成 25 年度の来館者数の月変化と前年度との比較

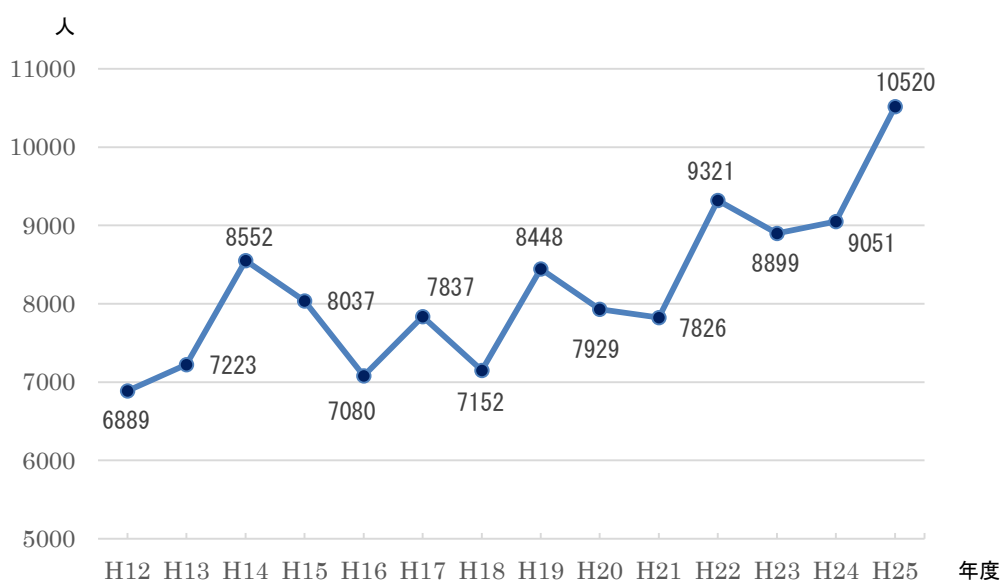


図 5-2 平成 12～25 年度の来館者数の年変化

## 6. 保護・回復対策

### 1. 石狩市海浜植物等保護条例の一部改正と海浜植物等保護地区の拡大

平成 25 年度 7 月 1 日より石狩市海浜植物等保護条例が改正され、新たな海浜植物等保護地区として、「弁天地区」と「親船地区」（石狩浜海水浴場を挟んだ東西約 15ha の範囲）が指定されました。

この地区は、平成 4 年より石狩市が独自で車乗入れ防止柵を設置し、車走行による植生の破壊を防止してきました。このような中、海岸管理者である北海道との協議が平成 23 年度に行われ、平成 25 年度より、当該地域を石狩市が正式に占有し、石狩市海浜植物等保護条例に基づく海浜植物等保護地区として指定される運びとなりました。



図 6-1 石狩市海浜植物等保護条例で指定する海浜植物等保護地区

### 2. 海浜植物等保護地区の監視

平成 25 年度は、従来の海浜植物等保護地区である「河口地区」、「聚富地区」に加え、「弁天地区」、「親船地区」において、4 月から 10 月まで、監視員 2 名により、ハマボウフウなど海浜植物の採取や、バイク等の乗入れ等を防ぐための監視を行いました。

石狩川左岸側の「河口地区」、「親船地区」、「弁天地区」では、春先はハマボウフウの採取者が多く、海水浴シーズンは、キャンプ等で保護区内に侵入する利用者が、秋にはハマナスの実を採取する人が増える状況にあり、監視による採取防止効果は大きいと思われま

す。石狩川右岸側の「聚富地区」では、期間を通じて植物の採取や車両の侵入は見られませんでした。

### 3. 親船地区西側のエリア

親船地区西端から石狩湾新港東側（三線浜）にかけての約 2.6km の海岸保全区域には、北海道空知総合振興局札幌建設管理部（旧札幌土木現業所）が、「石狩湾沿岸海岸保全基本計画」（平成 15 年、北海道）に基づき、平成 17 年より車乗り入れ防止柵を設置しています。この地域においては、サンドバギー車やモトクロスバイクの植生上への進入が頻繁に確認され、特に石狩湾新港側から進入していることがわかっています。

海岸管理者は、ロープの補修等侵入防止対策を施していますが、侵入は後を絶たない状況です。

海岸管理者及び石狩市等からなる石狩浜環境保全連絡会議では、新たに指定した「弁



天地区」、「親船地区」において、市条例に基づく保護地区指定の効果の検証を行い、効果が見られるようであれば、柵の強化対策に伴い段階的に当該地域へ保護地区を広げていくという方向性で一致しています。

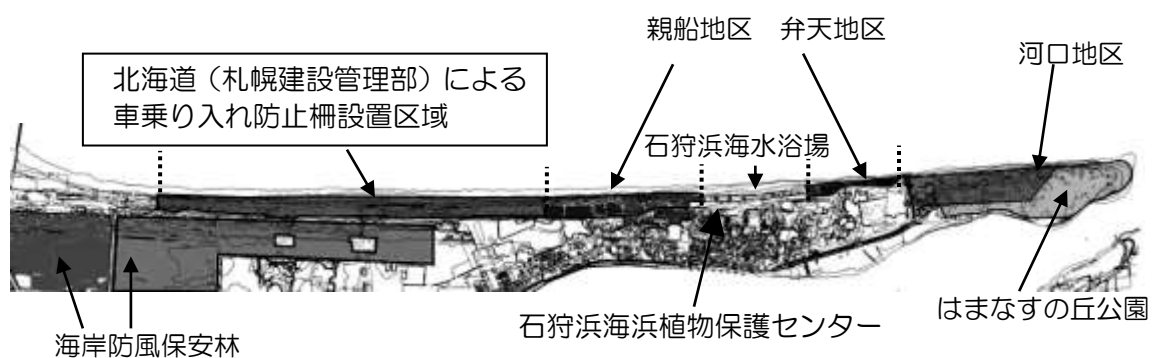


図 6-2 車乗り入れ防止柵設置区域



# 沿 革

## 石狩浜海浜植物保護センター開設の目的

石狩海岸地域は、北海道自然環境保全指針において「すぐれた自然地域」に指定されるとともに、大都市近郊において、海岸砂丘の生態系を色濃く残す自然海岸として、全国的にも大変貴重な地域となっています。しかし、美しい海浜植物や雄大な海浜景観は、レジャーをはじめとする過度な利用により、次第に失われつつあります。

このような状況において、豊かな海辺の自然を市民共有の財産として保全し、後世へ残して行くためには、市民、行政、研究機関とが協働して普及啓発活動や調査研究活動に取り組むことが不可欠です。石狩浜海浜植物保護センターは、その活動拠点として、平成12年4月に開設されました。

## 施設概要と業務内容

名 称	石狩浜海浜植物保護センター
所在地	石狩市弁天町48番地1 tel.0133-60-6107 fax.0133-60-6146
規 模	敷地面積：11,244.1㎡ センター／木造2階建、延床面積：259.5㎡、建物高：10.9m 温 室／鉄骨造平屋建、延床面積：42.5㎡

施設は、①海浜植物の保護に係る調査・研究、②石狩浜保全への啓発、を目的としたもので、屋内は、大きく展示室と実験室、屋外は、温室と観察園、再生園に分かれています。

展示の方針は、来館者に海浜植物をはじめとする石狩浜の自然情報の提供や保全活動状況の紹介、作品展示などを行うことができる、更新性を備えた市民参加型の展示としています。また、展示室は研修機能を備え、フィールドと一体となった研修の場を提供しています。

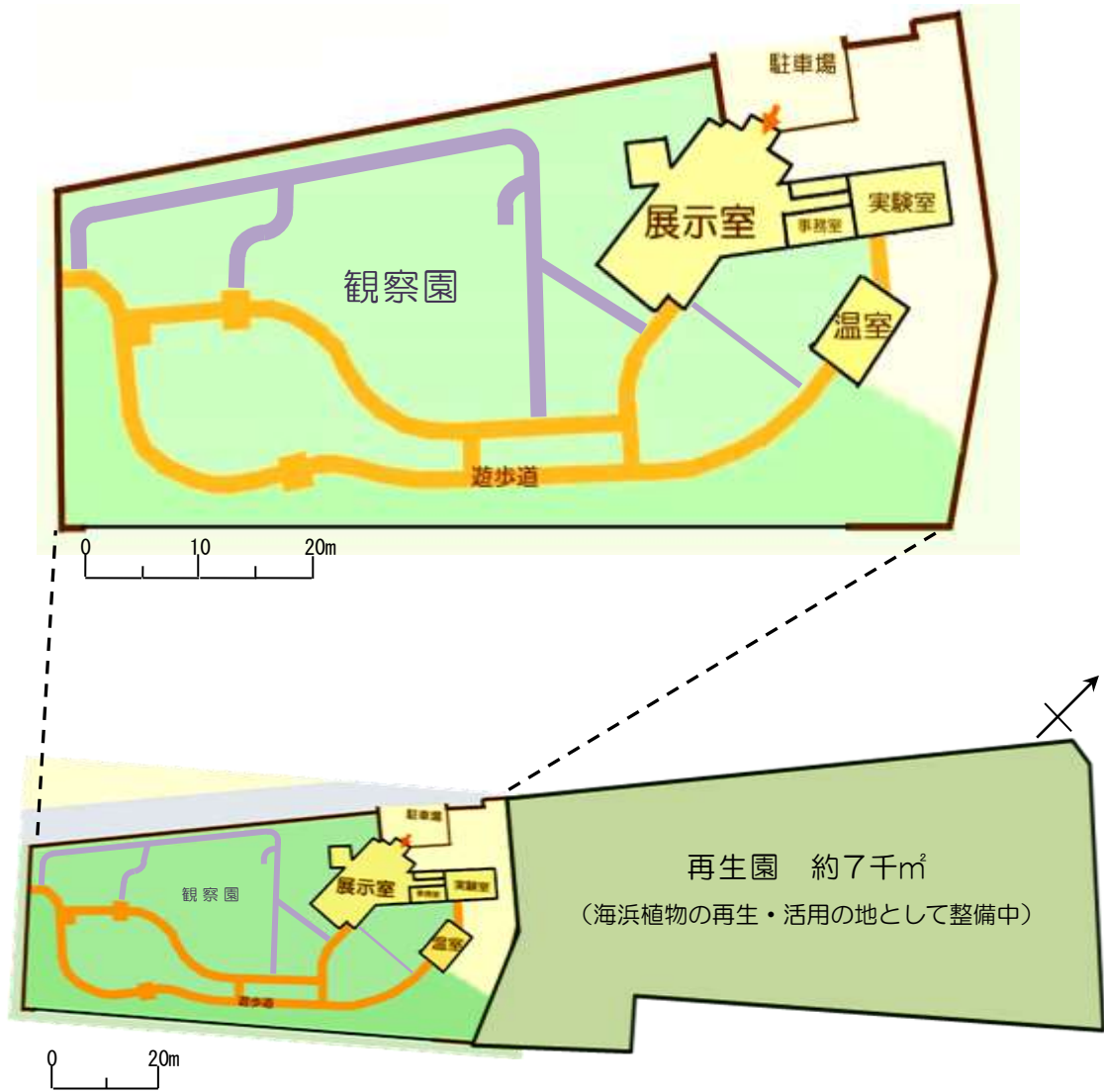
観察園は、石狩浜に生育する海浜植物を一堂に集め、その生態観察の場となっています。また、再生園では、ハマナスを中心とした海浜植物の再生と活用場の場として整備しています。

調査研究機能としては、保全に向けた海浜植物の生態研究のために、実験室、および研究対象植物を育成するために温室が備わっています。また、観察園の一部も、調査・試験区として利用することができます。

以下、保護センターにおける主要業務を示します。

- 啓発・普及業務
  - 展示施設・自然観察園の整備・更新
  - 施設見学者への対応
  - 講座・観察会等の開催
  - 市民に対する情報提供・機関紙の発行・ホームページの管理・運営
  - ボランティア・各種団体・研究機関との連絡調整
- 調査・研究業務
  - 石狩浜の動植物の生息、生育状況に関する調査
  - 海浜植生の保全に係る調査研究と実施
  - 海浜植物の保護・保全計画の立案と実施
  - ボランティアグループの調査研究活動支援

## 石狩浜海浜植物保護センター施設略図

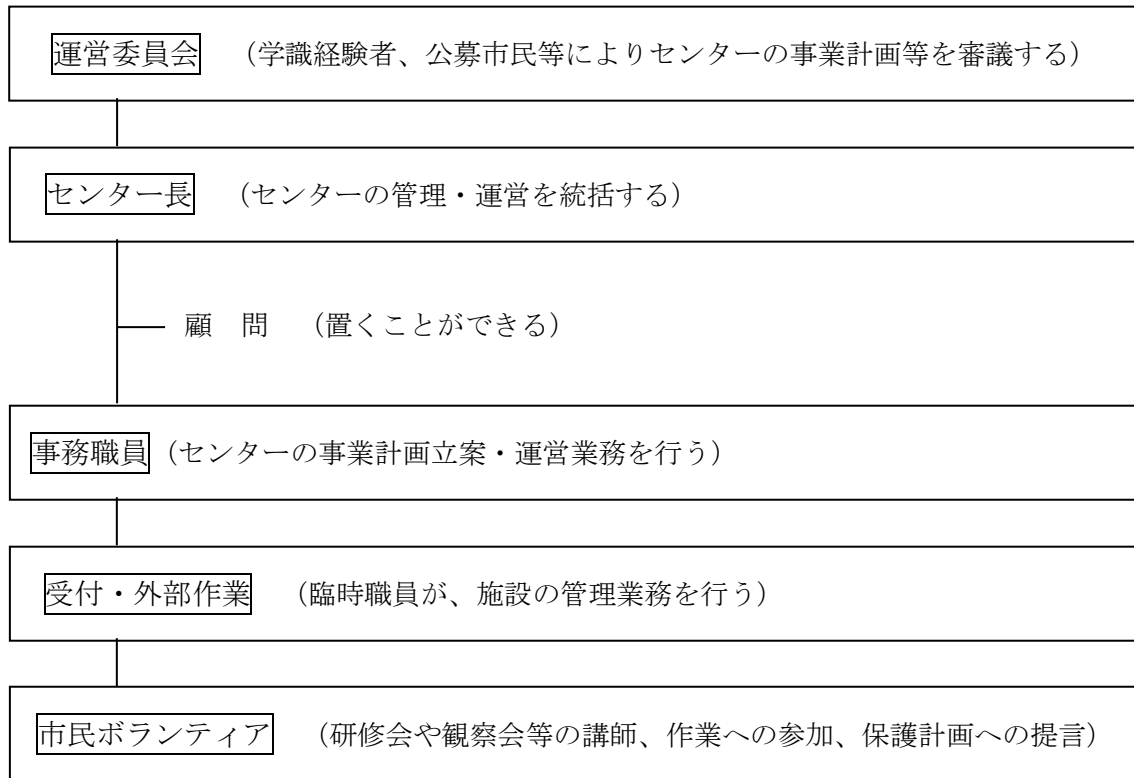


### 石狩浜海浜植物保護センター利用案内

- 開館期間 4月29日～11月3日  
開館時間 9時～17時  
休館日 火曜日（祝日の場合はその翌日）  
入館料 無料  
駐車場 あり  
交通 北海道中央バス「札幌バスターミナル」発  
「石狩」行き約60分 「石狩温泉前」下車  
徒歩5分



## 管理運営と組織図



### ◆石狩浜海浜植物保護センター運営委員会名簿 (第7期：H24.4.1~H26.3.31)

会長	安田 秀子
副会長	瀬野 一郎
委員	松島 肇
委員	石山 優子
委員	渡邊 千秋
委員	北條 静香
委員	萬谷 優子



平成25年度石狩浜海浜植物保護センター活動報告書

平成26年12月発行

発行 石狩市

編集 環境市民部石狩浜海浜植物保護センター

開館期間中 〒061-3372 石狩市弁天町 48-1

tel.0133-60-6107 fax.0133-60-6146

冬季閉館中 〒061-3292 石狩市花川北6条1丁目 30-2

tel.0133-72-3269 fax.0133-75-2275

E-mail ihama@city.ishikari.hokkaido.jp

HP <http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/site/kaihinsyokubutu/index.html>